

# 特定非営利活動法人

## PDDサポートセンター グリーンフォレスト定款

### 第1章 総則

#### (名称)

第1条 この法人は、特定非営利活動法人PDDサポートセンター グリーンフォレストという。

#### (事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を神奈川県横浜市内におく。

### 第2章 目的及び事業

#### (目的)

第3条 この法人は、広汎性発達障害児・者に対して、社会生活支援に関する事業を行い、もって福祉の増進に寄与することを目的とする。

#### (特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (2) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
- (3) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
- (4) 上記の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

#### (事業)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、特定非営利活動に係る事業として、次の事業を行う。

- ① 広汎性発達障害児・者の福祉の増進に関する事業
- ② 広汎性発達障害に関する研修・相談事業及び広報・啓発活動
- ③ 障害福祉サービス事業及び相談支援事業
- ④ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 第3章 会員

#### (種別)

第6条 この法人の会員は、次の2種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法(以下「法」という。)上の社員とする。

(1) 正会員

この法人の目的に賛同して入会した個人

(2) 賛助会員

この法人の目的に賛同し賛助するために入会した個人および団体

**(入会)**

第7条 会員の入会について、特に条件は定めない。

2 会員として入会しようとするものは、理事長が別に定める入会申込書により、理事長に申し込むものとする。

3 理事長は、前項の申し込みがあったときは、正当な理由がない限り、入会を認めなければならない。

4 理事長は、第2項のもの入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

**(入会金及び会費)**

第8条 会員は、総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

**(会員の資格の喪失)**

第9条 会員が次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

(1) 退会届の提出をしたとき。

(2) 本人が死亡し、若しくは失そう宣告を受け、又は会員である団体が消滅したとき。

(3) 継続して1年以上会費を滞納したとき。

(4) 除名されたとき。

**(退会)**

第10条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

**(除名)**

第11条 会員が次の各号の一に該当する場合には、総会において正会員総数の4分の3以上の議決により、これを除名することができる。

(1) この定款等に違反したとき。

(2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

2 前項の規定により会員を除名しようとする場合は、議決の前に当該会員に弁明の機会を与えなければならない。

**(抛出金品の不返還)**

第12条 既に納入した入会金、会費及びその他の拠出金品は、返還しない。

## 第4章 役員及び職員

### (種別及び定数)

第13条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 7人以上14人以内
  - (2) 監事 2人
- 2 理事のうち1人を理事長、1人を副理事長とする。

### (選任等)

第14条 理事及び監事は、総会において選任する。

- 2 理事長及び副理事長は、理事の互選とする。
- 3 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは三親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び三親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。
- 4 法第20条各号のいずれかに該当する者は、この法人の役員になることができない。
- 5 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねてはならない。

### (職務)

第15条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。

- 2 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故があるとき又は理事長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 3 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び総会又は理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。
- 4 監事は、次に掲げる職務を行う。
  - (1) 理事の業務執行の状況を監査すること。
  - (2) この法人の財産の状況を監査すること。
  - (3) 前2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること。
  - (4) 前号の報告をするために必要がある場合には、総会を招集すること。
  - (5) 理事の業務執行の状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べること。

### (任期等)

第16条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠のため、又は増員により就任した役員任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。

- 3 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

#### **(欠員補充)**

第17条 理事又は監事のうち、その定数の3分の1を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

#### **(解任)**

第18条 役員が次の各号の一に該当する場合には、総会において正会員総数の4分の3以上の議決により、これを解任することができる。

- (1) 心身の故障のため、職務の遂行に堪えないと認められるとき。
  - (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったとき。
- 2 前項の規定により役員を解任しようとする場合は、議決の前に当該役員に弁明の機会を与えなければならない。

#### **(報酬等)**

第19条 役員は、その総数の3分の1以下の範囲内で報酬を受けることができる。

- 2 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

#### **(職員)**

第20条 この法人に、事務局長その他の職員を置く。

- 2 職員は、理事長が任免する。

## **第5章 総会**

#### **(種別)**

第21条 この法人の総会は、通常総会及び臨時総会の2種とする。

#### **(構成)**

第22条 総会は、正会員をもって構成する。

#### **(権能)**

第23条 総会は、次の事項について議決する。

- (1) 定款の変更
- (2) 解散
- (3) 合併
- (4) 事業計画及び収支予算に関する事項
- (5) 事業報告及び収支決算に関する事項
- (6) 役員を選任等に関する事項
- (7) 入会金、会費に関する事項

- (8)長期借入金に関する事項
- (9)事務局の組織等に関する事項
- (10)その他この法人の運営に関する重要事項

### **(開催)**

第24条 通常総会は、毎年1回開催する。

- 2 臨時総会は、次に掲げる場合に開催する。
  - (1) 理事会が必要と認め、招集の請求をしたとき。
  - (2) 正会員総数の5分の1以上から会議の目的を記載した書面により招集の請求があったとき。
  - (3) 監事が第15条第4項第4号の規定に基づいて招集するとき。

### **(招集)**

第25条 総会は、前条第2項第3号の場合を除いて、理事長が招集する。

- 2 理事長は、前条第2項第1号及び第2号の規定による請求があったときは、その日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。
- 3 総会を招集する場合には、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面または電磁的な方法により、開催の日の少なくとも5日前までに通知しなければならない。

### **(議長)**

第26条 総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する。

### **(定足数)**

第27条 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することはできない。

### **(議決)**

第28条 総会における議決事項は、第25条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

- 2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 3 理事又は正会員の目的である事項において提案をした場合において、当該提案につき正会員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の総会の決議があったものとみなすことができる。また、総会の目的である事項のすべてについての提案を可決する旨の総会の決議があったものとみなされた場合には、その時に当該総会が終了したものとみなす。

### **(表決権等)**

第29条 各正会員の表決権は平等なものとする。

- 2 やむを得ない理由により総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について、書面または電磁的方法をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。
- 3 前項の規定により表決した正会員は、第27条、前条第2項、次条第1項及び第50条第1項の規定の適用については、総会に出席したものとみなす。
- 4 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議事の議決に加わることができない。

#### **(議事録)**

第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
  - (2) 正会員総数及び出席者（書面または電磁的表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。）
  - (3) 審議事項
  - (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
  - (5) 議事録署名人の選任に関する事項
- 2 議事録には、議長及び総会において選任された議事録署名人2名が、記名押印又は署名しなければならない。

## **第6章 理事会**

#### **(構成)**

第31条 理事会は、理事をもって構成する。

#### **(権能)**

第32条 理事会は、この定款に別に定める事項のほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

#### **(開催)**

第33条 理事会は、次に掲げる場合に開催する。

- (1) 理事長が必要と認めたとき。
- (2) 理事総数の2分の1以上から理事会の目的である事項を記載した書面により招集の請求があったとき。

#### **(招集)**

第34条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長は、前条第2号の規定による請求があったときは、その日から14

日以内に理事会を招集しなければならない。

- 3 理事会を招集する場合には、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面または電磁的な方法により、開催の日の少なくとも5日前までに通知しなければならない。

#### **(議長)**

第35条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

#### **(定足数)**

第36条 理事会は、理事総数の過半数の出席がなければ開会することができない。

#### **(議決)**

第37条 理事会における議決事項は、第34条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

- 2 理事会の議事は、理事総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

#### **(表決権等)**

第38条 各理事の表決権は、平等なものとする。

- 2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面または電磁的な方法をもって表決することができる。
- 3 前項の規定により表決した理事は、第36条及び次条第1項の適用については、理事会に出席したものとみなす。
- 4 理事会の議決について、特別の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。

#### **(議事録)**

第39条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
  - (2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名（書面または電磁的表決者にあつては、その旨を付記すること。）
  - (3) 審議事項
  - (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
  - (5) 議事録署名人の選任に関する事項
- 2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人が、記名押印又は署名しなければならない。
  - 3 前2項の規定にかかわらず、正会員全員が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたことにより、総会の決議があつたとみなされた場合においては、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 総会の決議があったものとみなされた事項の内容
- (2) 前項の事項の提案をしたものの氏名又は名称
- (3) 総会の決議があったものとみなされた日
- (4) 議事録の作成にかかる職務名の氏名

## **第7章 資産及び会計**

### **(資産の構成)**

第40条 この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された資産
- (2) 入会金及び会費
- (3) 寄付金品
- (4) 財産から生じる収入
- (5) 事業に伴う収入
- (6) その他の収入

### **(資産の区分)**

第41条 この法人の資産は、特定非営利活動に係る事業に関する資産の1種とする。

### **(資産の管理)**

第42条 この法人の資産は理事長が管理し、その方法は、総会の議決を経て理事長が別に定める。

### **(会計の原則)**

第43条 この法人の会計は、法第27条各号に掲げる原則に従って行わなければならない。

### **(会計の区分)**

第44条 この法人の会計は、特定非営利活動に係る事業に関する会計の1種とする。

### **(事業計画及び収支予算)**

第45条 この法人の事業計画及びこれに伴う収支予算は、理事長が作成し、総会の議決を経なければならない。

### **(暫定予算)**

第46条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ収入支出することができる。

- 2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

### **(事業報告及び収支決算)**



第47条 この法人の事業報告及び収支決算は、毎事業年度ごとに理事長が事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録等として作成し、監事の監査を経て、その年度終了後3か月以内に総会の承認を得なければならない。

#### **(事業年度)**

第48条 この法人の事業年度は、毎年4月1日から始まり、翌年3月31日に終わる。

#### **(長期借入金)**

第49条 この法人が資金の借入れをしようとするときは、その事業年度の収入をもって償還する短期借入金を除き、総会の承認を得なければならない。

## **第8章 定款の変更、解散及び合併**

#### **(定款の変更)**

第50条 この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の4分の3以上の多数による議決を得なければならない。

2 定款の変更は、次に掲げる事項を除いて所轄庁の認証を得なければならない。

- (1) 主たる事務所の所在地及びその他の事務所の所在地（所轄庁の変更を伴わないものに限る）
- (2) 資産に関する事項
- (3) 公告の方法
- (4) 役員の数
- (5) 会計に関する事項
- (6) 事業年度
- (7) 解散に関する事項（残余財産の帰属すべき者の係わる事項を除く）
- (8) その他、法上定款に記載することが義務付けられていない事項

#### **(解散)**

第51条 この法人は、次に掲げる事由により解散する。

- (1) 総会の決議
  - (2) 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能
  - (3) 正会員の欠亡
  - (4) 合併
  - (5) 破産手続開始の決定
  - (6) 所轄庁による設立の認証の取消し
- 2 前項第1号の事由によりこの法人が解散するときは、正会員総数の4分の3以上の承諾を得なければならない。
- 3 第1項第2号の事由により解散するときは、所轄庁の認定を得なければならない。

### **(残余財産の帰属)**

第52条 この法人が解散（合併又は破産手続開始の決定による解散を除く。）したときに残存する財産は、法第11条第3項に規定する法人のうちから総会において選定したものに帰属する。

### **(合併)**

第53条 この法人が合併しようとするときは、総会において正会員総数の4分の3以上の議決を経、かつ、所轄庁の認証を得なければならない。

## **第9章 公告の方法**

### **(公告の方法)**

第54条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。ただし、貸借対照表の公告については、この法人の主たる事務所の掲示場に掲示して行う。

## **第10章 雑則**

### **(細則)**

第55条 この定款の施行について必要な細則は、理事会の議決を経て、理事長がこれを定める。

### **附則**

- 1 この定款は、この法人の成立の日から施行する。
- 2 この法人の設立当初の役員は、次に掲げるものとする。

理事長	篁 一誠
副理事長	関水 実
理事	佐藤 賢治
同	飯嶋 朋子
同	郷田 圭子
同	江尻 邦子
同	水谷 紀子
同	杉谷 開
同	岡本 哲
同	藤崎 照英
同	八島 敏昭
監事	塩谷 芳彦
同	笹岡 綾乃

- 3 この法人の設立当初の役員の任期は、第16条第1項の規定にかかわらず、この法人の成立の日から2007年6月30日までとする。
- 4 この法人の設立当初の事業計画及び収支予算は、第45条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによるものとする。

- 5 この法人の設立当初の事業年度は、第48条の規定にかかわらず、成立の日から2006年3月31日までとする。
- 6 この法人の設立当初の入会金及び会費は、第8条の規定にかかわらず、次に掲げる額とする。

ただし、2005年度の入会金及び会費は、徴収しないものとする。

(1) 入会金	0円		
(2) 年会費	正会員個人	10,000円	
	正会員団体	30,000円	

附則

この定款は、平成 18年 2月 16日から施行する。

附則

この定款は、平成 19年 11月 24日から施行する。

附則

この定款は、平成 24年 9月 21日から施行する。

附則

この定款は、平成 25年 4月 1日から施行する。

附則

この定款は、平成 29年 5月 8日から施行する。

附則

この定款は、平成 30年 3月 17日から施行する。

附則

この定款は、令和 元年 6月 1日から施行する。

附則

この定款は、令和 2年 5月 8日から施行する。